

中国地方の道路に関する 課題と取り組みについて

平成22年12月7日

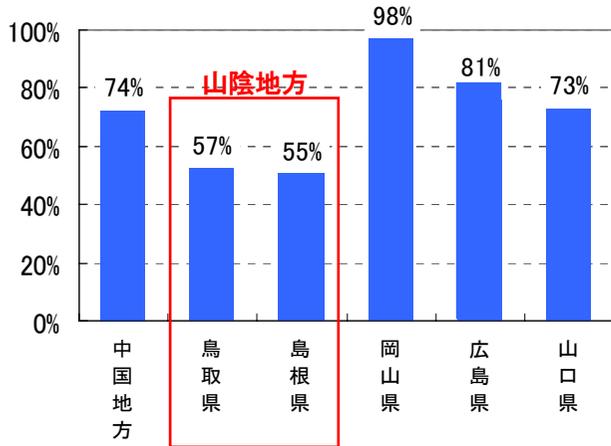
中国地方整備局

1. 中国地方の課題

① 整備率が低い山陰の高規格幹線道路

○山陰地方の高規格幹線道路は約6割の整備率。特に山陰道は約3割の整備率。

【中国地方における高規格幹線道路整備状況】

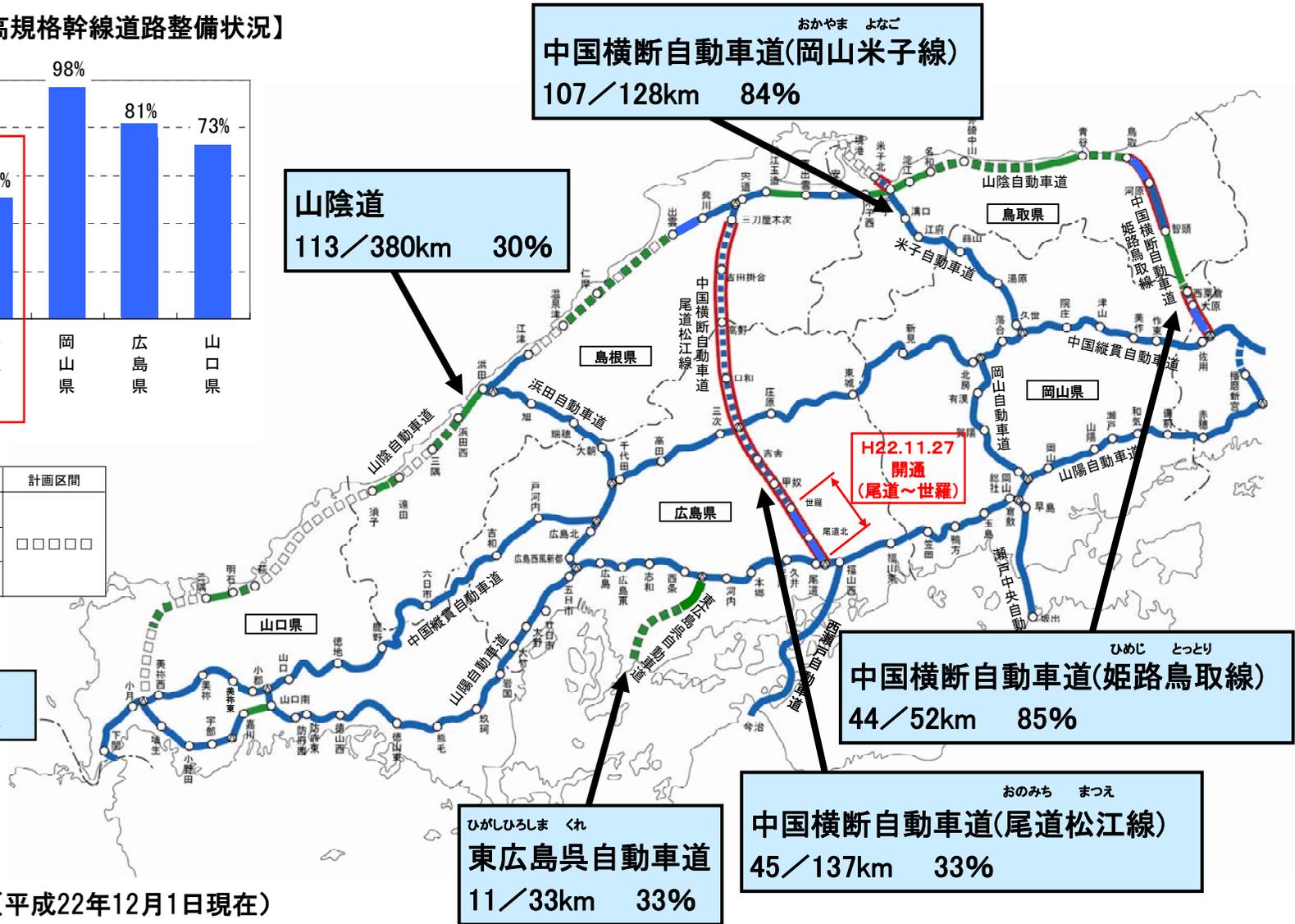


凡 例

	供用区間	事業区間	計画区間
有料区間	■	■ ■ ■ ■	
新直轄区間 (無料区間)	■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■	□ □ □ □
無料区間	■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■	

※計画区間のIC名については仮称

路線名
供用済延長 / 計画延長 整備率



資料/中国地方整備局(平成22年12月1日現在)

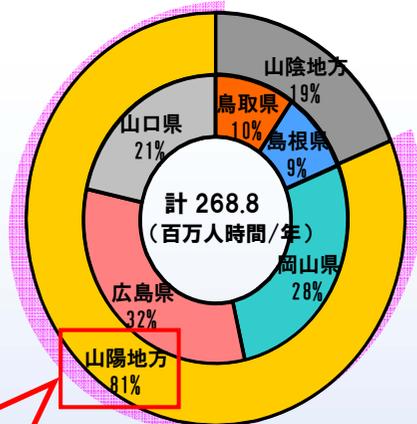
※山陰地方の整備率は、鳥取県・島根県内の区間を対象に算定

1. 中国地方の課題

②山陽の都市部に集中する渋滞

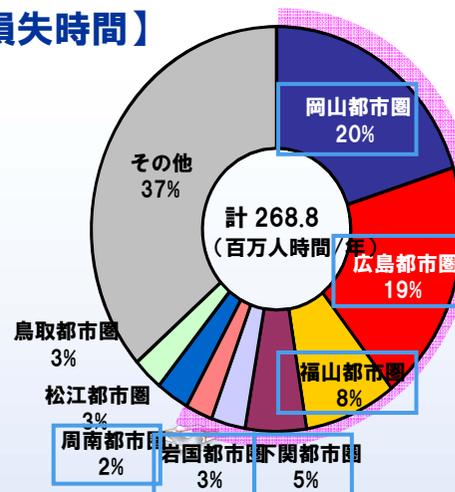
- ・渋滞等による損失時間の約8割が山陽地方に集中。
- ・損失時間の約6割が山陽側都市圏に集中。

【県別損失時間】



損失時間の約8割が山陽地方に集中

【都市圏別損失時間】



損失時間の約6割が山陽側都市圏等に集中



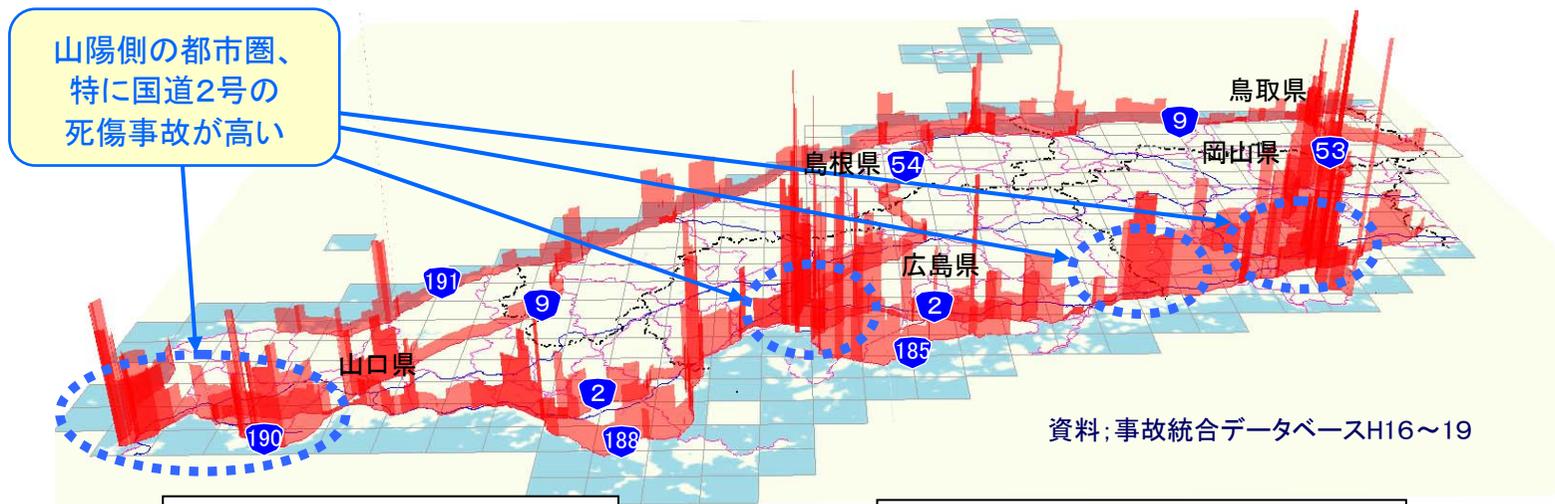
※H20.04～H21.03プローブデータ及びH17センサデータ等により算出(県道以上)

1. 中国地方の課題

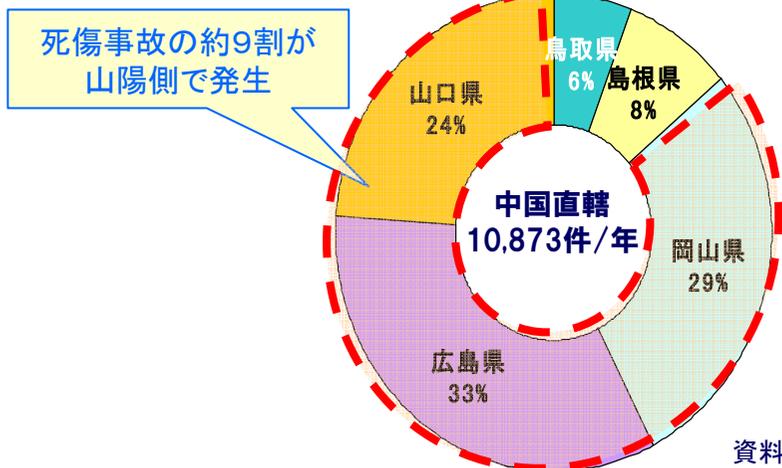
③山陽の都市部を中心に発生する死傷事故

・山陽側の都市圏、特に国道2号で交通事故が多発。

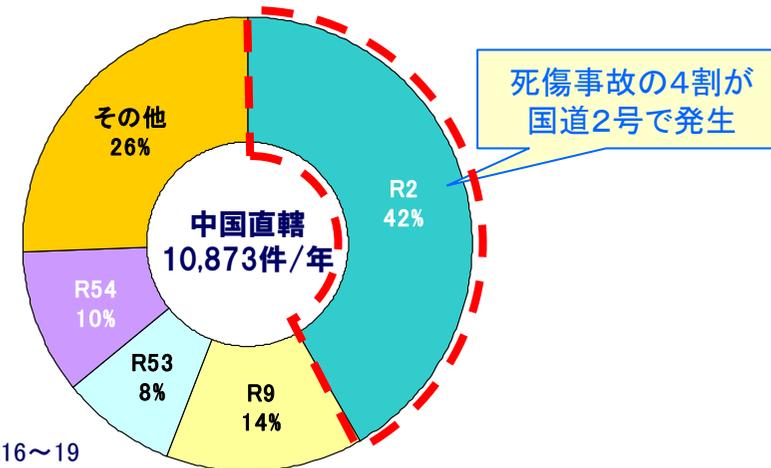
直轄国道における死傷事故率



県別死傷事故件数(直轄のみ)
※H16-H19年平均値



路線別の死傷事故件数(直轄のみ)
※H16-H19年平均値

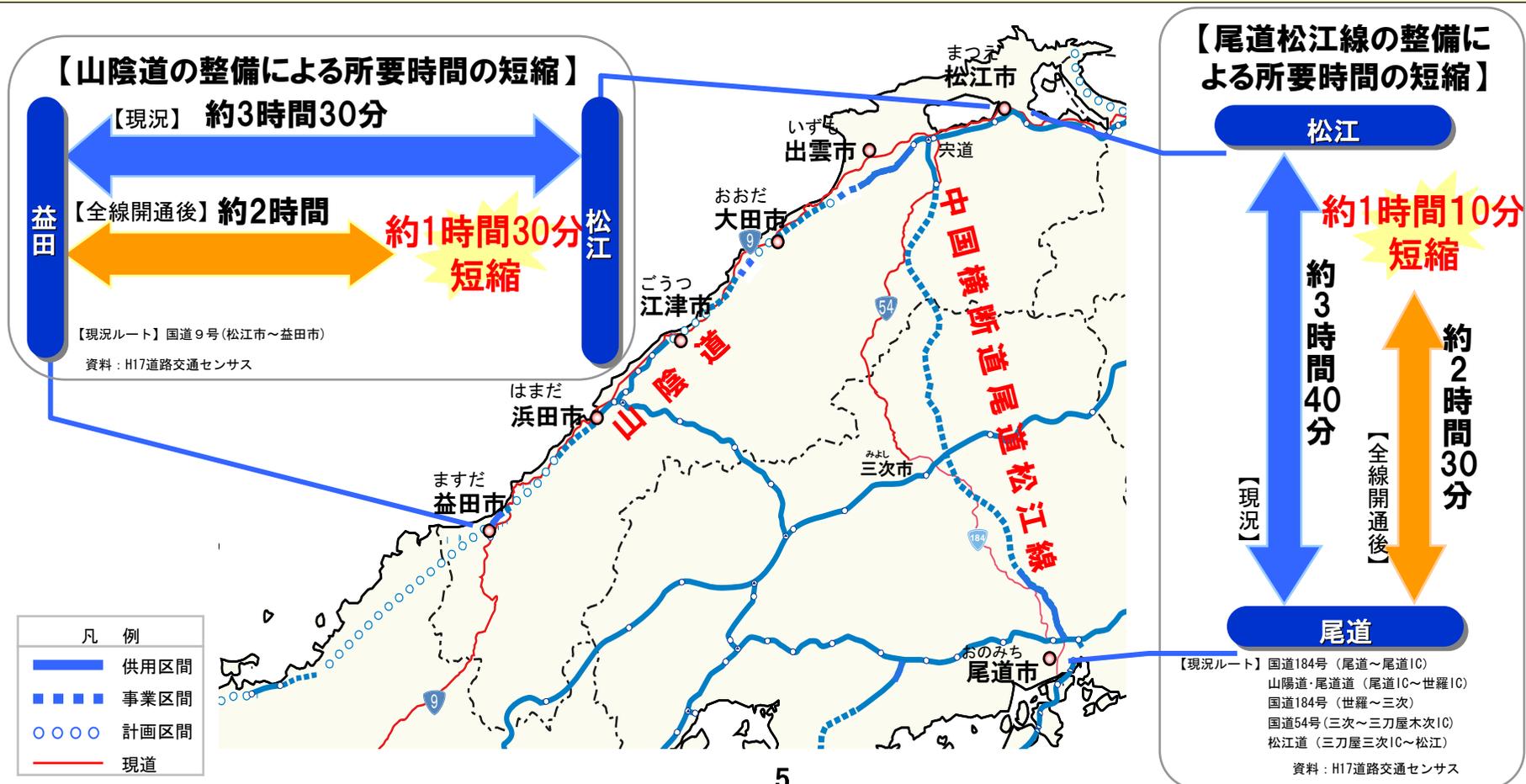


資料: 事故統合データベースH16~19

2. 取り組みと効果

② 高速ネットワークの形成により、都市間の所要時間を短縮

- 高速ネットワークの形成により、都市間の所要時間は大幅に短縮。
 - ・ 山陰道の整備により、松江市～益田市の所要時間が 約1時間30分短縮
 - ・ 尾道松江線の整備により、尾道市～松江市の所要時間が 約1時間10分短縮
- 人流・物流・産業交流の活発化、地域経済の向上
 - また、事故、災害時の信頼性の向上などが期待される。



3. 取り組みと効果

③尾道松江線の事業進捗に伴い、企業の進出が活発化

○尾道松江線沿線には工業団地、流通団地があり、企業立地や尾道松江線の開通を見越した新たな開発が進められている。



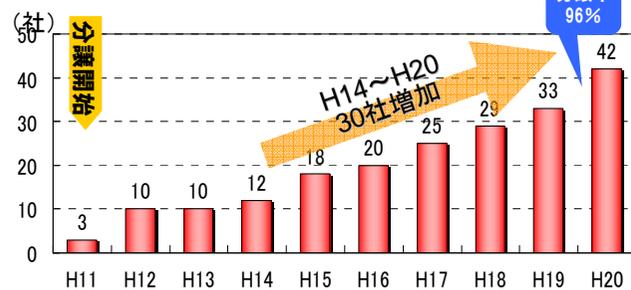
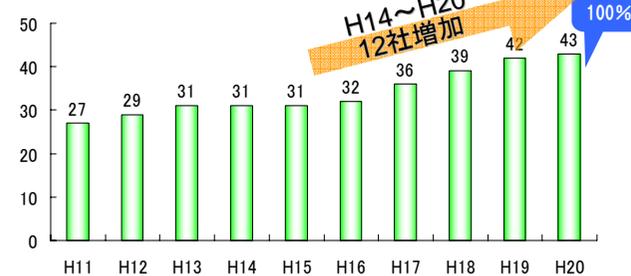
尺の内流通業務団地の状況



○尾道松江線の整備を見据え、H19に1社が増設、H20に1社が新設。【分譲率90%、47企業(H20現在)】
○雲南市では、尾道松江線の開通を背景に、**規模拡張(1ha)**を予定。

三次工業団地の企業立地状況

○東西南北に伸びる高速道路の結節点となることなどを背景に、**広島県が平成21年6月より3期分譲開始(8ha)**(社)



尾道流通団地の企業立地状況

【日本生活協同組合連合会尾道流通センター】

- 「日本生活協同組合連合会尾道流通センター」をH20.10より稼働開始。
- 立地場所の選定にあたり、敷地面積規模、購入費用や日本海側とのアクセス性も重視し選定。
- 雇用に約1,000人規模で予定。(日本生活協同組合連合会へのヒアリング)

【日本生活協同組合連合会尾道流通センター】



敷地面積	8.1ha
駐車場	大型 115台 小型 525台
従業員	社員 120人 パート 850人

【丸善製薬株式会社】

- 新尾道工場(尾道市)と三次工場(三次市)は連携をとりながら製造

- 尾道松江線によるアクセス性の向上によって、製造、在庫管理等の効率化を期待している。』(平成17年11月稼働)(丸善製薬株式会社へのヒアリング結果)



2. 取り組みと効果

④ 姫路鳥取線の開通により観光入込客数が増加

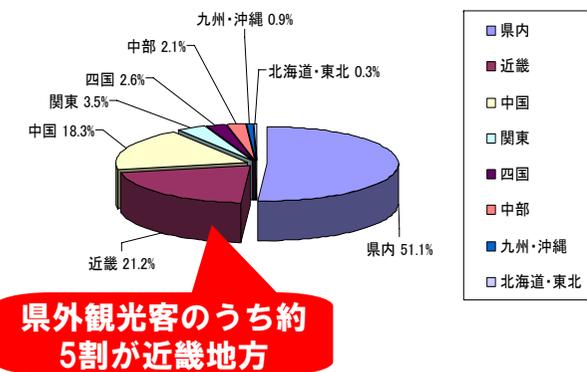
○2009鳥取因幡の祭典では、観光客数、経済効果ともに目標を大きく上回った。

観光客数 581万人→714万人、経済効果 335億円→400億円（出典：2009鳥取・因幡の祭典実行委員会）

○移動時間の短縮により、周遊観光の拡大が期待される。



〔鳥取県への発地別観光入込客内訳〕



県外観光客のうち約5割が近畿地方

資料：平成20年鳥取県観光客入込動態調査

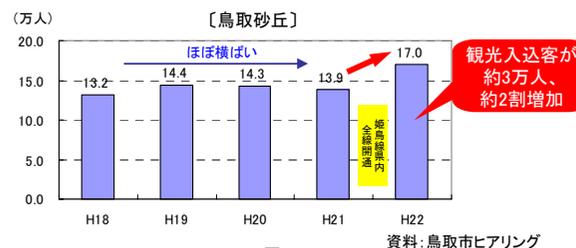
日帰り旅行の鳥取滞在時間の増加



※観光地数は、鳥取県文化観光局観光政策課発行パンフレット「山陰 鳥取」(H21.4)に掲載されている観光地(県内計110箇所)を対象とした。

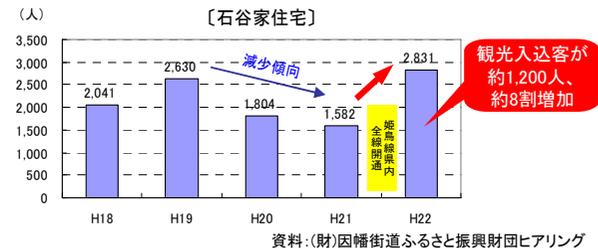
ゴールデンウィーク期間中(4/29～5/5)の観光入込客数

- ・姫路鳥取線の開通(鳥取県内)により鳥取砂丘の観光客が増加。
- ・また、素通りが懸念された石谷家住宅(智頭町)の観光客も増加。



観光入込客が約3万人、約2割増加

資料：鳥取市ヒアリング



観光入込客が約1,200人、約8割増加

資料：(財)因幡街道ふるさと振興財団ヒアリング

2. 取り組みと効果

⑤山陰道整備による国道9号災害時のリダンダンシーの確保

OH21.6豪雨災害により、国道9号が全面通行止め。大田-江津間は大きな迂回を強いられた。

国道9号大田市仁摩～温泉津間の全面通行止め実績と迂回状況

※図中の全面通行止め箇所はH12～H21の10箇年実績



平成21年6月 集中豪雨による被災の影響(国道9号大田市温泉津町)

平成21年6月22日午前6時半ごろ、大田市温泉津町小浜の国道9号で集中豪雨による法面崩落が発生。現場は約14時間にわたり全面通行止めとなった。



AM6:30頃 国道9号(温泉津町小浜)で法面崩落発生
AM6:35 全面通行止め
PM8:00 全面通行止め解除(片側交互規制)

約14時間の全面通行止めにより：約7.6千台の交通に影響
※H17道路交通センサス(6～19時台交通量)

期待される道路の役割(効果)

〔迂回時の所要時間短縮の予測〕



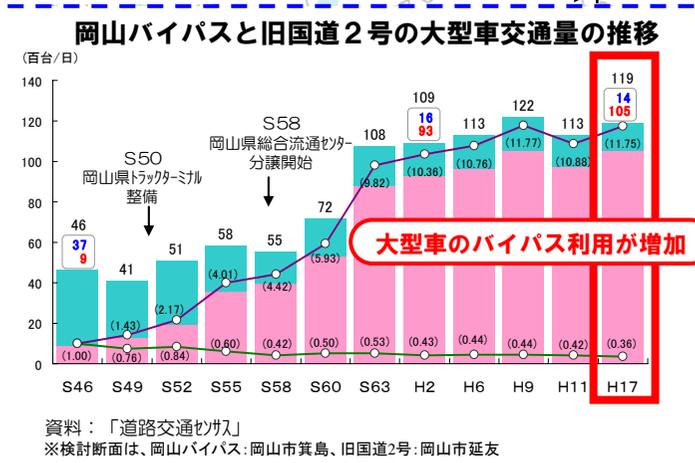
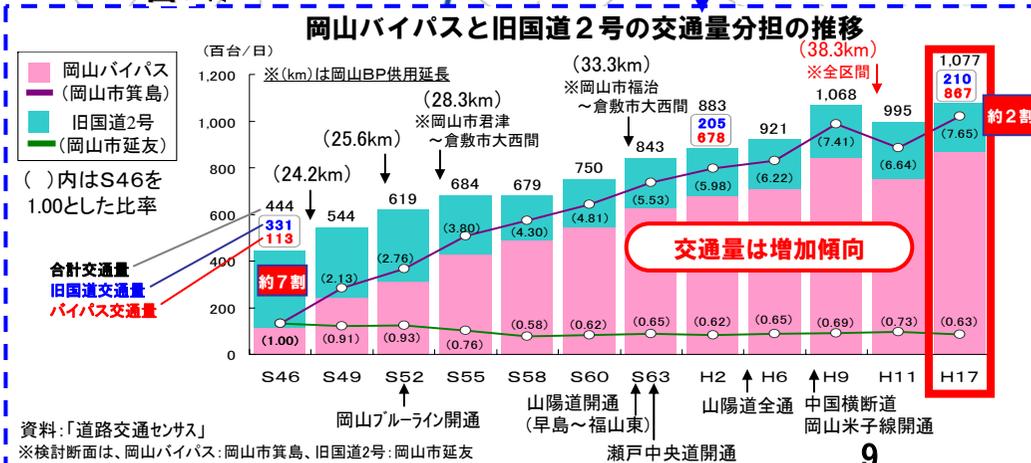
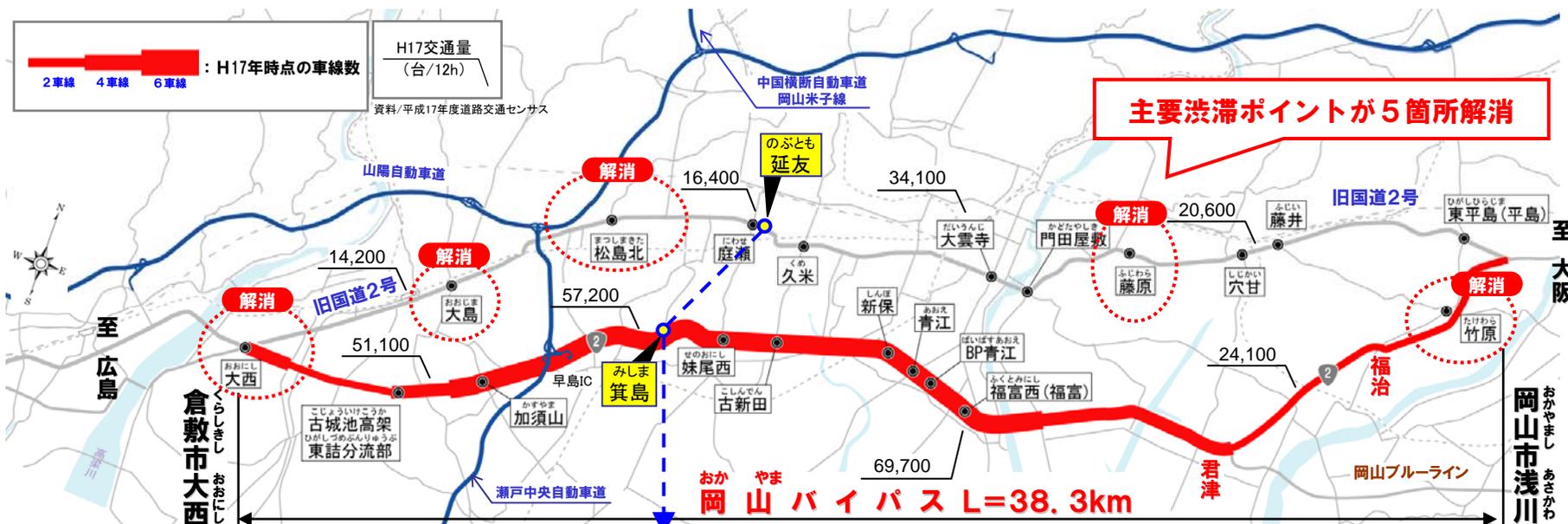
※山陰道が全線整備された場合として算出。山陰道はV=70km/h、その他はH17道路交通センサスの混雑時旅行速度より算出

2. 取り組みと効果

⑥岡山バイパスの整備より岡山都市圏の渋滞が緩和

○国道2号岡山バイパスの整備により、増加する交通を分担。(H11.3全線開通)

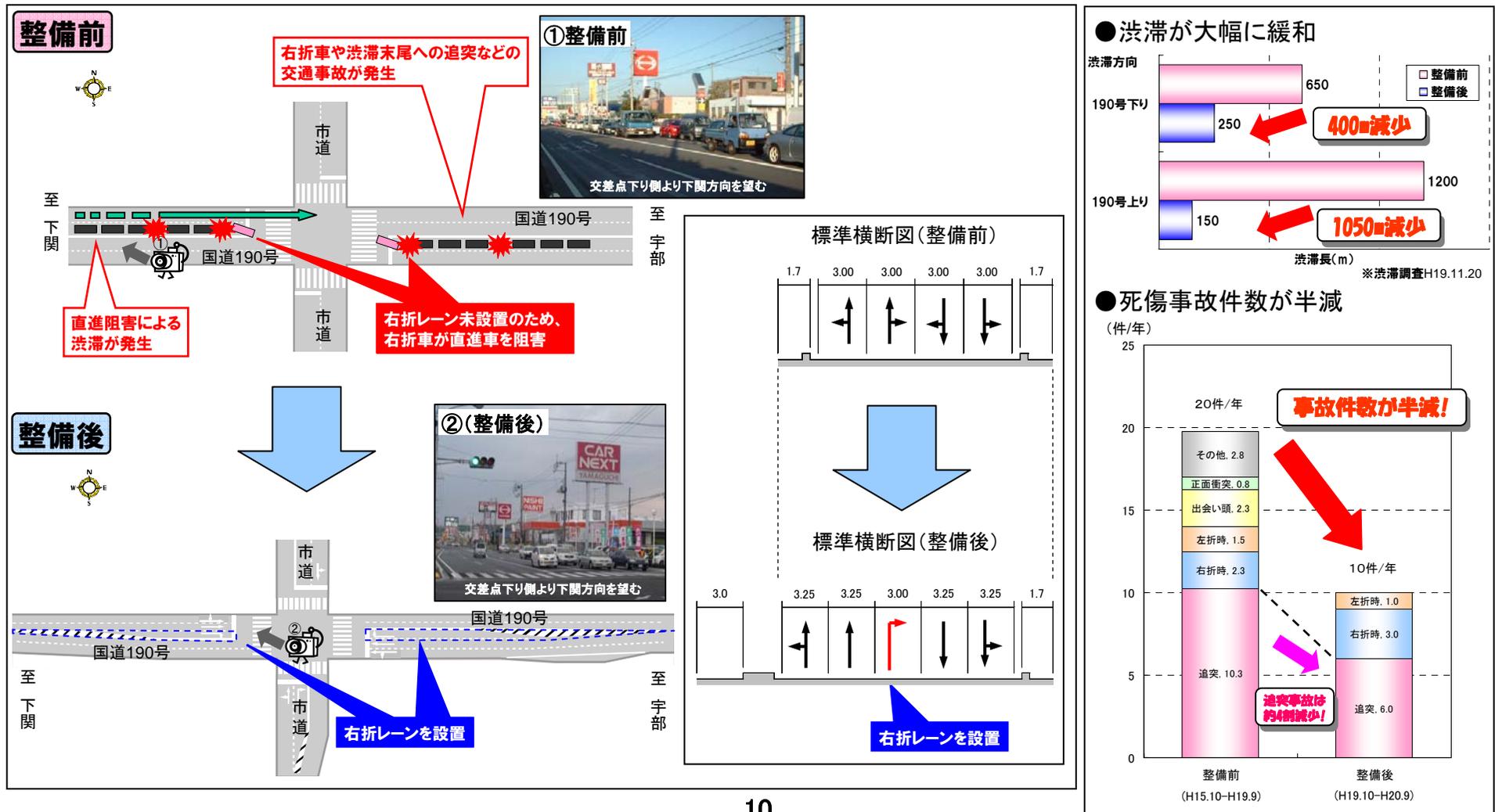
○岡山都市圏の旧国道2号等の渋滞が緩和。



2. 取り組みと効果

⑦ 国道190号西割交差点整備により渋滞・死傷事故件数が減少

- 山口県宇部市の国道190号西割交差点では、右折レーンが設置されていないことから、右折車による直進阻害により渋滞が発生。右折車や渋滞末尾への追突などの交通事故が発生。
- 右折レーンの整備により、渋滞が緩和し、死傷事故件数が半減。追突事故も約4割減少。



3. 道の駅

①道の駅—交流・連携の拠点

- ・全国で952駅、中国5県で85駅(H22. 8月登録)
- ・利用者の休憩機能、道路情報の提供、地域情報の発信、地域の交流拠点

キララ多伎

- 一大リゾート地域の中心的施設として運営管理を行い、集客数も年々増加(近年5カ年で25%増加)。
- 多伎町特産のイチジクの加工品(パン、ジャム、ワイン等)をキララ多伎で販売。道の駅のPR効果を背景に、イチジク生産量は施設オープン前の1.7倍、販売額も近年1億円を突破。



萩しーまーと

- 全国公募で採用された駅長による「道の駅」運営
- 地場産業ブームを背景に、水産都市である萩市の特色を生かして、地元鮮魚を中心に品揃え。
- 2008年度は約150万人が来店、9億円オーバーの売上高を記録。(中国地方1位、全国9位)
- 人口5万人の町で100名規模の地元採用を行うなど、地域雇用の創出効果も高い。



4. 道路管理の取り組み

①維持管理基準の設定・運用

行政刷新会議での結果を踏まえ、これまで地域ごとバラツキのあった巡回、清掃、除草、除雪等の各作業について、通行の安全性に支障のないと考えられる範囲で、平成22年度より全国統一の基準を明確に設定して、運用することにより、維持管理費を縮減。

【これまで】		【H22】	
<巡回>	・原則 1日に1回	・原則 2日に1回	
<清掃> 路面清掃	・年間 0~138回 (H20実績)	・原則 年間 12回(三大都市内) 年間 6回(DID内) 年間 1回(上記以外)	
歩道清掃	・年間 0~75回 (H20実績)		
<除草>	・年間 1~3回 (H20実績)	・落葉対策を除き、原則実施しない	
<剪定>	・年間 1回~3年間に1回 (H20実績)	・原則 年間 1回	
<除雪> 除雪 凍結防止剤散布	・5~10cm降雪量で実施 ・統一の基準なし	・高木・低木 原則 3年に1回 ・寄植 原則 年間に1回 ・原則 5~10cm降雪量で実施 ・標準的な散布量を統一	



【除 雪】



【除雪 (凍結防止剤散布)】



4. 道路管理の取り組み

② 橋梁保全の取り組み

◆ 背景と目的

中国地方整備局の管理する橋梁は、平成21年4月1日現在、2,952橋あり、建設後の平均経年数は35年となっている。また、建設後50年を越える橋梁数は10年後には約5割、20年後には6割を越えることとなり、老朽化が急速に進んでいく状況にある。

さらに、近年、重大な橋梁の損傷が発生しており、定期点検による確実な状態把握、点検結果に基づく確実な対策が望まれている。

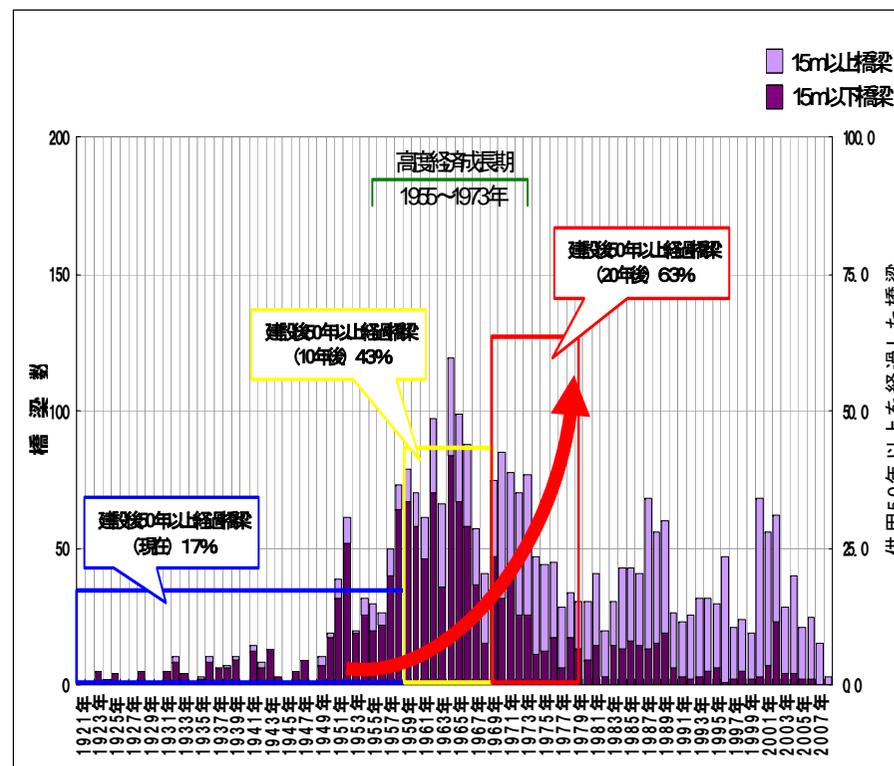
放置すると！

重大な損傷、危険な橋の増大

- 崩落事故等の重大な損傷 → 人命の危険
- 重大な損傷、大規模補修に伴う通行規制 → 社会的損失
- 大規模な補修や架替えの増加 → 膨大な費用

橋梁保全の取り組み

- 橋梁保全に関する自治体への技術支援を実施
 - ・橋梁技術現場支援セミナーの実施(H16年度～)
 - ・橋梁点検講習会の実施(H19年度～)
 - ・橋梁保全に関する地域の相談窓口を設置(H19年度)
- 中国地方整備局の組織を強化
 - ・H21年4月、道路保全企画官、道路構造保全官、道路保全企画係長を配置
- 中国地方橋梁保全委員会の設置(H21.6.24)
- 橋梁の長寿命化修繕計画の策定



4. 道路管理の取り組み

③ 地方自治体への技術支援

- 橋梁技術現場支援セミナーの実施。
 - ※整備局、県、政令市、各県自治体の職員を対象にH16年度より年1回実施。
 - ※延べ184名の参加あり。(内、自治体職員数:92名)
- 橋梁点検講習会の実施。
 - ※自治体職員を対象に各県との共催によりH19年度より各県単位で年1回実施。
 - ※延べ619名の参加あり。
- 自治体管理の橋梁における重大な橋梁損傷等発見時の専門家の派遣など、技術支援を実施。
 - ※鳥取県(駒帰橋)、岡山県(重則橋)、山口県(上勝坂橋)、島根県(大森座橋)で技術支援実施
- 橋梁点検車の無償貸し付け
中国地方整備局が保有する 橋梁点検車を無償貸し付けを実施。

<技術的支援. 橋梁点検講習会、橋梁技術現場支援セミナーの開催>



<一般国道373号駒帰橋の技術支援>

